





わざわざ
お越しいただき
ありがとうございます

作：みい

退魔教会所属の
シスター、
セレスです

この教会に淫魔が
潜んでいると情報が
ありましたので

調査をさせて
いただきます

自身の潔白を
証明したいので
あれば

抵抗なく
協力することを
お勧めします

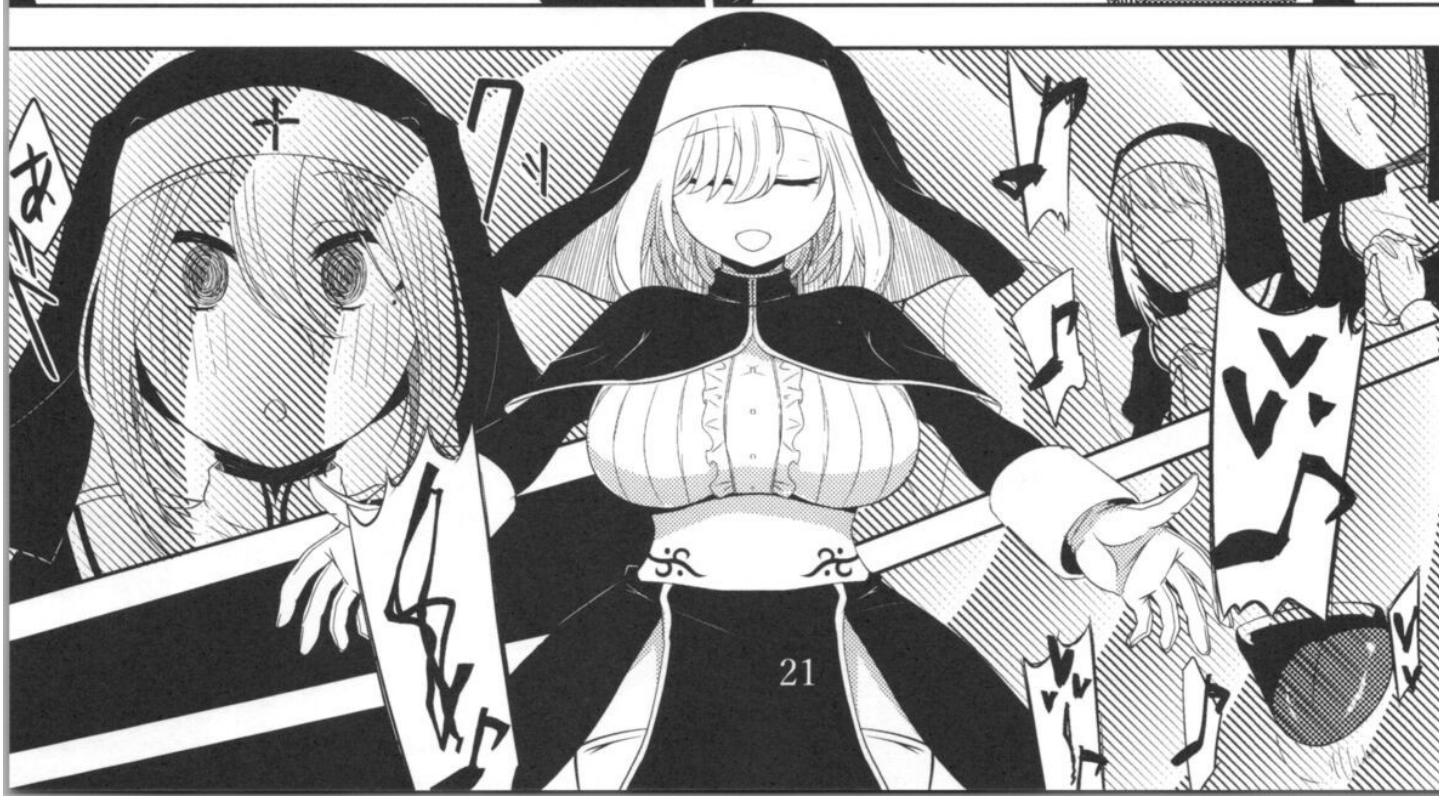
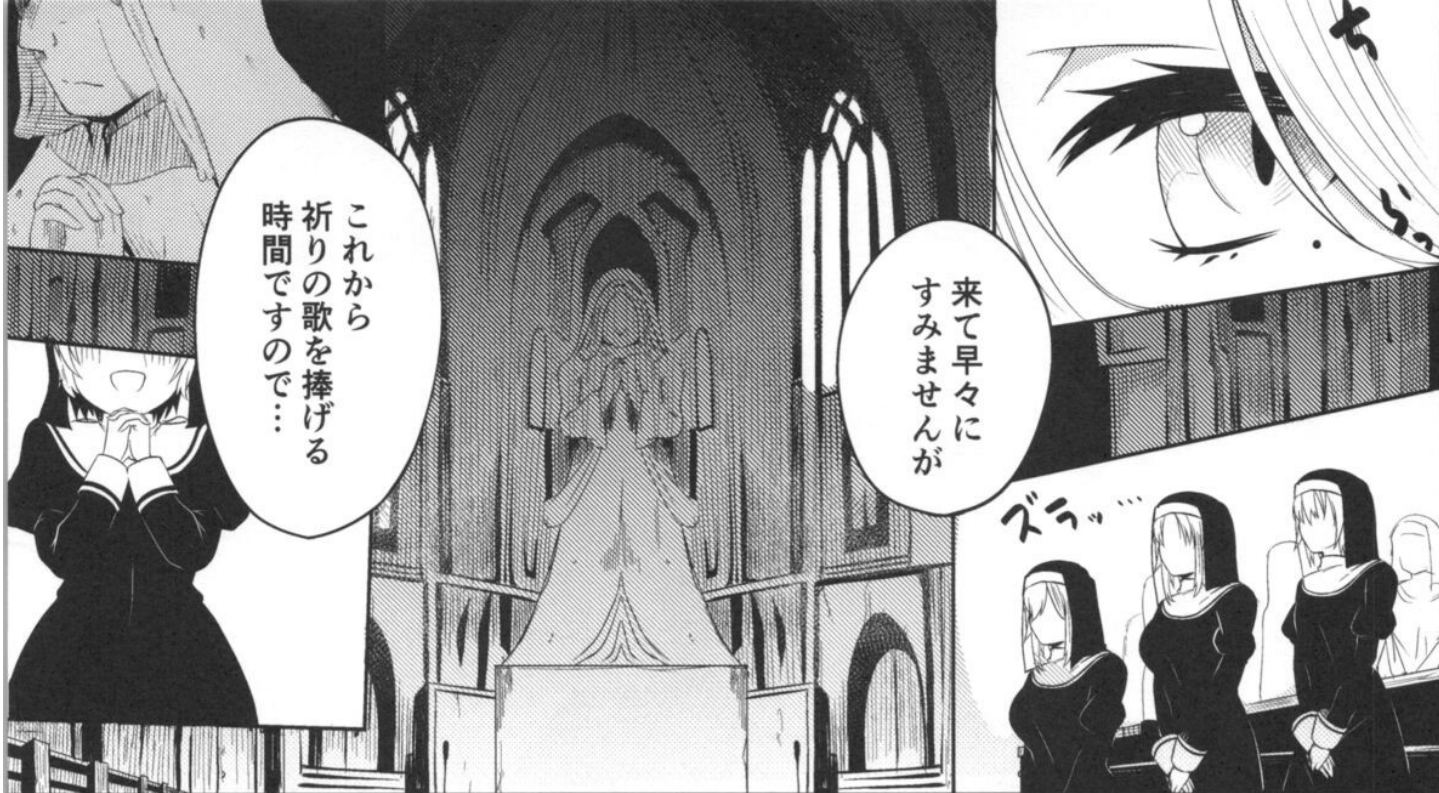
もちろん

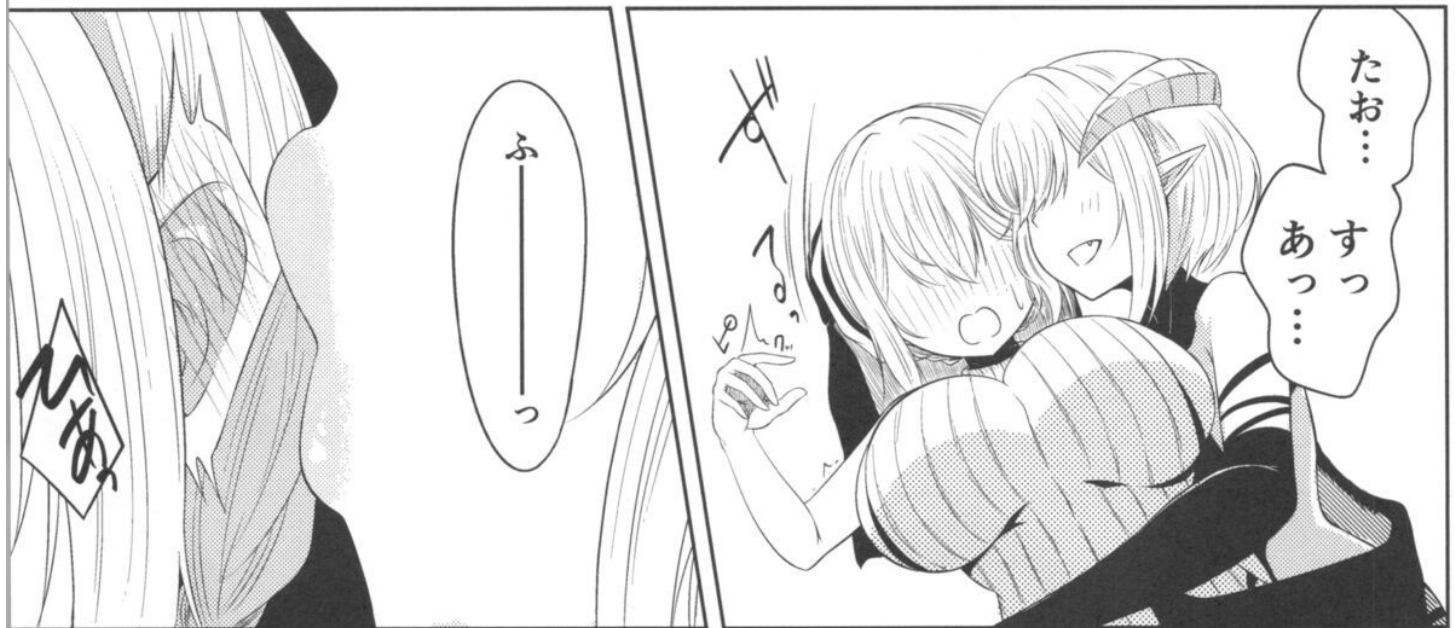
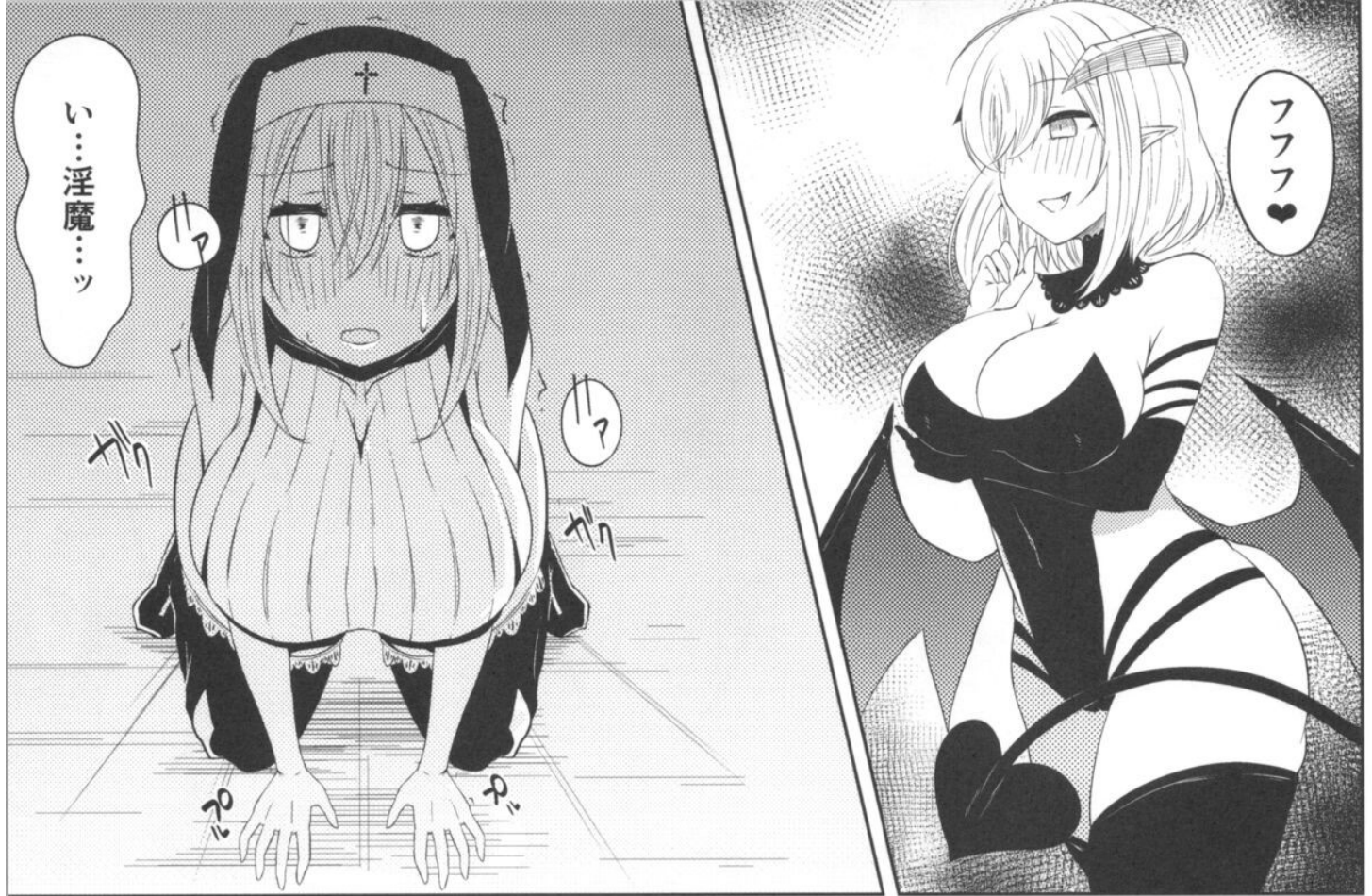
私達としても
疑われたままでは
支障をきたしますから

退魔師様が我々の
無実を証明して
くだされば……

我が主の教えが
より多くの人々に
届くことでしょう

それは本当に潔白で
あれば私が帰った後で
好きにどうぞぞ







ほらもう
頭の中
真っ白

自分では何も
できない…
分からない…

あぁあ

だから
私が…
教えてあげる…
必要なこと…
大切なこと…



今度は
出て行かない
ように…

こっちを
しっかり
塞ぎながら…



あなたは
我が教団の
敬虔な信者…

淫魔を神とし…
崇拜し、至上と
する信者

淫魔に服従する
ことがあなたの
幸せ…

淫魔の教えは
絶対の真実…

私の言葉を
繰り返して

私は
救いようのない
変態です

私は…?
救いようのない…
変態…で…すう?

私を受け入れて
くれるのは
淫魔様だけです

私を受け入れて
くれるの…

淫魔様…
だけ…

私を救って
くれるのは
淫魔様だけです

私を救って
くれるのは…

淫魔様…
だけ…です

淫魔様は
私の全てです

淫魔様…
淫魔様…

ご主人様♡
おかげで私は真実に
気付くことが
出来ました♡

私の身体は
淫欲に飲まれた
子羊と

ご主人様に捧げる
ためにいやらしく
育ったのです♡



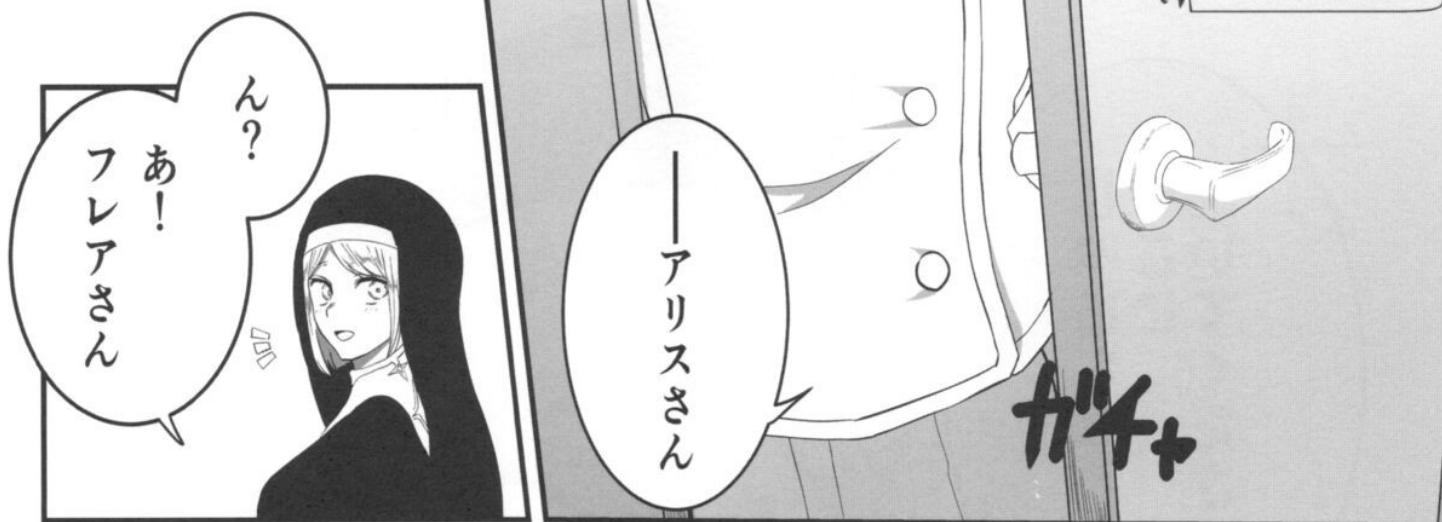
はーい脳みそ
空っぽのバカ信者の
完成♡

あ、お前らも
いつもの信者服に
着替えておいで

はい♡
ご主人様♡

さあ、あなたには
これからいっぱい
働いてもらうからね♡







だからー

えっあっ

証拠

あるんですか

じゃあちよっと
そこに
跪いてください



ア……

アリスさん？

跪く……………
何言って……

ピクッ

早く早く！
そこに跪いて♡

あっ……あ……！

は……はい……



はい
いいですよ
そのまま
動かないで

まったくもお
証拠あるなら
先言ってください

は…はい…
そう…ですよ…



何だこの感じ…
おかしいことだって
分かるのに…
アリスさんの声が
優しく頭の中で反響して…



言う通りにしたくなる…

フレアさんの
考えてること
分かりますよ

これはあ
私の素敵な
魔法です

魔法…
なんでこんなこと…
まさか本当に
アリスさんが…

でも安心して
いいですよ

私を信じて
私の声に
集中して



絶対に
この状況は変だ…
でも安心していいって…

違う…!

耐える…

気をしっかりもって…!

アリスさんを信じる…

違う…信じるな…!

声に集中するな耐える…!

耐えよう
なんて考えたら
ダメですよ♡

んん…っ!

それじゃあ
私の質問に
答えてくださいね

いや…耐えるんだ!

耐えようと
したらだめ…

ふーむ

なるほど
なるほどお

じゃあ私が人を
操って盗賊行為を
させてることは
バレてないんですね！

私に逮捕状が出る
ことを知ってる人は
どのくらいいますか？

私の隊の2人と：
法務官のほとんどに
情報は共有されてます：
証拠も全員が
確認済みです：

んー
じゃあ今から
嘘情報を
流させても
無駄かなあ

まあいっか

捕まる前に
さっさと
盗れるもの盗って
出ましょう

フレアさんにも
盗ってきて
もらいますよ

え...?
私も盗賊の仲間になるって
ことですか...?

仲間?
何を勘違い
してるんですか?

足にしがみついて
情報吐くような
無能さんは
要らないですよ!

フレアさんは
奴隷!

使い捨ての
奴隷です!

奴隷!
奴隷!
私は奴隷!

んっ...う...
はい...い!

奴隷!

奴隷!

ア...
アリスさま...
アリスさまあ♡

じゃあさっそく
王宮から財宝
盗ってきて
くださいね♡